



代表理事組合長
岩 次則

明けまして

おめでとうございます
組合員・地域住民の皆様
におかれましては、健やか
に新年を迎えられたことと
お喜び申し上げます。また、
日頃より当JAの事業運営
につきましては、格別のご
理解とご協力を賜り心から
感謝申し上げます。

さて、昨年の国内経済は、
新型コロナウイルス感染症
の位置づけが第5類に移行
され、人流が活発化しイン
バウンドを含めた観光客が
増加する等、好調な動きも
みられたものの、円安や継
続する物価高、深刻化する
人手不足、さらには猛暑・

水害などの異常気象等が経
済活動へ大きく影響する一
年でありました。

種子屋久管内の農作物に
ついても、八月七日～八日
にかけて台風六号の直撃を
受けましたが、全般的に大
した被害も無く、基幹作物
のサトウキビについては、
少しの倒伏はあったものの
その後は順調に生育し収穫
を迎えているところです。

その一方、澱粉用甘藷につ
いては、昨年同様基腐病の
被害等による減収や出荷先
の変更により大幅に計画を
下回る実績となりました。
基腐れ病対策については、
国・県へ農薬の早期の開発
と使用承認の要請を行って
いるところです。

畜産業においては、生産
コストの高止まりや子牛価
格の暴落等により、農家経
営は依然として厳しい環境
下にあります。

また、昨年は国会議員へ
の要請の中で、八月に離島

を持つ国会議員十六名程度
による「離島農業振興議員
連盟」が設立され、離島を
持つ各県の代表者との意見
交換が実施されました。

鹿児島県については、十一
月六日に開催され、JAあ
まみの組合長と私の二名が
鹿児島県代表者として参加
し、離島農業の現状と課題
そして意見要望を述べてき
ました。

こうした状況のなかで、
令和六年度は第六次中期三
カ年計画の最終年度を迎え
ることから、組合員・地域
住民の皆様には信頼と総合事
業を基本とした、「農協経
営の持続性確保」に引き続
き役員一体となつて取り
組んでまいりますので、こ
れからも皆様のご理解とご
協力を賜りますようお願い
申し上げます。

結びに、組合員・地域住
民皆様方のご健勝とご多幸
をご祈念申し上げ、新年の
挨拶といたします。

常勤理事

代表理事組合長

岩 次則

管理経済常務

鎌田 昭一

信用共済常務

古市 修二

理事

宮脇 幸喜

脇田 峰生

中村 正幸

田中 義人

砂坂 浩一郎

古市 康秋

岩川 孝行

岩川 原造

岩元 宮子

代表監事
里 信子
岩川 憲一郎

常勤監事
中目 啓喜

監事
松村 隆浩

員外監事
後庵 和信

